

就労継続支援A型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

4312700398

事業所名		MARUKO																																																																								
人員配置区分		1	←選択してください。 1. I型(7.5:1) 2. II型(10:1)																																																																							
利用定員	↓選択してください。 1 20人以下 1 20人以下 2 21人以上40人以下 3 41人以上60人以下 4 61人以上80人以下 5 81人以上 ※多機能型の場合、定員合計を記入。その場合、「体制等状況一覧表」の「定員区分」の数値と一致する。		評価点区分	↓選択してください。 2 評価点が150点以上170点未満 165 1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満の場合 8 なし(経過措置:新規指定から1年間 ※5と同じ)																																																																						
(労働時間に限る)実績算定対象年度		1	1 令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)(通常) ※【別紙54-2】も提出すること(全事業所) 2 令和元年度(令和元年4月～令和2年3月)(特例) 3 平成30年度(平成30年4月～令和元年3月)(特例)																																																																							
新型コロナウイルス感染症の影響の有無及び影響を受けた理由等		※実績算定対象年度で「2」又は「3」を選択した場合は、必ず記載すること																																																																								
前年度の労働時間・利用者の状況	<table><tr><th colspan="2">延べ労働時間数</th><th colspan="2">延べ利用者数 (雇用契約者数)</th></tr><tr><td>4月</td><td>1,879.58</td><td>時間</td><td>408</td><td>人</td></tr><tr><td>5月</td><td>1,951.50</td><td>時間</td><td>424</td><td>人</td></tr><tr><td>6月</td><td>1,820.00</td><td>時間</td><td>396</td><td>人</td></tr><tr><td>7月</td><td>1,778.50</td><td>時間</td><td>392</td><td>人</td></tr><tr><td>8月</td><td>1,734.50</td><td>時間</td><td>381</td><td>人</td></tr><tr><td>9月</td><td>1,758.75</td><td>時間</td><td>382</td><td>人</td></tr><tr><td>10月</td><td>1,674.75</td><td>時間</td><td>366</td><td>人</td></tr><tr><td>11月</td><td>1,616.00</td><td>時間</td><td>351</td><td>人</td></tr><tr><td>12月</td><td>1,695.50</td><td>時間</td><td>369</td><td>人</td></tr><tr><td>1月</td><td>1,572.50</td><td>時間</td><td>348</td><td>人</td></tr><tr><td>2月</td><td>1,386.75</td><td>時間</td><td>300</td><td>人</td></tr><tr><td>3月</td><td>1,635.25</td><td>時間</td><td>352</td><td>人</td></tr><tr><td>合計</td><td>20,503.58</td><td>時間</td><td>4,469</td><td>人</td></tr></table>					延べ労働時間数		延べ利用者数 (雇用契約者数)		4月	1,879.58	時間	408	人	5月	1,951.50	時間	424	人	6月	1,820.00	時間	396	人	7月	1,778.50	時間	392	人	8月	1,734.50	時間	381	人	9月	1,758.75	時間	382	人	10月	1,674.75	時間	366	人	11月	1,616.00	時間	351	人	12月	1,695.50	時間	369	人	1月	1,572.50	時間	348	人	2月	1,386.75	時間	300	人	3月	1,635.25	時間	352	人	合計	20,503.58	時間	4,469	人
	延べ労働時間数		延べ利用者数 (雇用契約者数)																																																																							
	4月	1,879.58	時間	408	人																																																																					
	5月	1,951.50	時間	424	人																																																																					
	6月	1,820.00	時間	396	人																																																																					
	7月	1,778.50	時間	392	人																																																																					
	8月	1,734.50	時間	381	人																																																																					
	9月	1,758.75	時間	382	人																																																																					
	10月	1,674.75	時間	366	人																																																																					
	11月	1,616.00	時間	351	人																																																																					
	12月	1,695.50	時間	369	人																																																																					
	1月	1,572.50	時間	348	人																																																																					
	2月	1,386.75	時間	300	人																																																																					
	3月	1,635.25	時間	352	人																																																																					
	合計	20,503.58	時間	4,469	人																																																																					
評価点の公表		インターネット利用	(公表場所) kumamiruサイト (URL) http://www.kumamiru.com/shop/spindex.html?dum=134741771&Uid=5711c56d517b747be0b2d9528b13d271&pcot=1																																																																							
		その他																																																																								

1日の平均労働時間数
(延べ労働時間数÷延べ利用者数)

4.59 時間

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法(令和3年厚生労働省告示第88号)に基づき評価点を算出すること。
なお、「就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)」も併せて提出すること。
注2 評価点区分「なし(経過措置対象)」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。
注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、
その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。
なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	MARUKO
住 所	熊本県宇城市松橋町久具 1 3 4 番地
電話番号	0964-33-3833

事業所番号	4312700398
管理者名	松田 敬司
対象年度	令和 5 年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	45
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		点
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

（Ⅱ）生産活動

①前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	○	
②前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		40
③前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		
④前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		点
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）

◎ ①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		35
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
小計（注1）	8	点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅳ）支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		
どちらか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている	○	
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
◎ ⑤職員の人事評価制度		35
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。		
⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた 規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計（注2）	10	点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点
生産活動	5点		20点	25点		40点		
多様な働き方	0点		15点	25点		35点		
支援力向上	0点		15点	25点		35点		
地域連携活動	0点			10点				

合計

165

点 / 200点

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和4年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	20,504	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,469	人	利用者の1日の平均労働時間数	5	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

（Ⅱ）生産活動

前々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	21,466,266	円	利用者に支払った賃金総額	16,626,458	円	収支	4,839,808	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	21,787,996	円	利用者に支払った賃金総額	18,253,037	円	収支	3,534,959	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和4年度）における実績（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数	●名
※取得を進めた免許等：	○○○
制度の活用内容：	○○○

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数	●名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	☐
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	☐
※登用した日	●年 ●月 ●日
勤務形態：	○○○
就業時間：	●時●分～●時●分
職務内容：	○○○

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数	●名
※実施した期間：	●月●日～●月●日
就業時間（在宅勤務）：	●時●分～●時●分
職務内容：	○○○

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数	●名
※実施した期間：	●月●日～●月●日
就業時間（コアタイム）：	●時●分～●時●分
職務内容：	○○○

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数	●名
※実施した期間：	●月●日～●月●日
就業時間（短時間）：	●時●分～●時●分
職務内容：	○○○

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数	1名
※実施した期間：	12月5日～3月31日
就業時間（早出の場合）：	●時●分～●時●分
就業時間（遅出の場合）：	11時00分～16時00分
職務内容：	機器の解体作業

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数	4名
◎計画的付与制度を活用した人数	●名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 ☒
	計画的付与制度 ☐
取得した期間：	1月14日
取得日数・時間	●日 2時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数	2名
※取得した内容	骨折のためお休み
取得した期間：	5月10日～9月5日
就業時間：	9時30分～15時30分
職務内容：	食品加工

（※）当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

（Ⅳ）支援力向上

前年度（令和4年度）における実績（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎研修実施回数 外部 ●回／内部 1回	
対象職員数	7人
うち研修受講者数	5人
※研修名	面接演習・障がい者虐待・第三者評価等
研修講師	学園大学社会福祉学科 川上賢蔵先生
実施日・受講者数	2月18日 5人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	2回
※研修、学会等名	くまもと福祉サービス協議会
実施日	5月27日
※学会誌等名	○○○
掲載日	●月●日
発表テーマ	地域連携活動について

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	就労継続支援A型・ねんりん
実施日／参加者数	6月30日 3人
※他の事業所名	就労継続支援A型・Felt
実施日／参加者数	12月7日 2人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数	3回
※商談会等名	新たな生産活動の導入、事業拡大を目的としての商談会
主催者名	くまもと福祉サービス協議会
日時	7月29日
内容	新たな生産活動の導入、事業拡大を目的

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	令和3年 2月15日
人事評価制度の対象職員数	6名
うち昇給・昇格を行った者	2名
当該人事評価制度の周知方法	用紙を回覧

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者バグ・ト研修」を受講している	☐
※配置期間	●月●日～●月●日
就業時間	
職務内容	○○○

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	●月●日
第三者評価機関	○○○

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	●月●日
規格等の内容	○○○

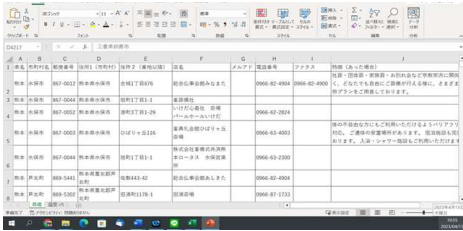
（※）実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	MARUKO	事業所番号	4312700398
住 所	熊本県宇城市松橋町久具 1 3 4 番地	管理者名	松田 敬司
電話番号	0964-33-3833	対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞	＜活動の様子＞
＜活動場所＞ MARUKO ＜実施日程＞ 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ＜実施した生産活動・施設外就労の概要＞ 全国の葬儀やさんデータ登録の受託 ＜利用者数等＞ 1 名	＜活動の様子の写真＞  ＜成果物の写真＞ 
＜目的＞	
＜地域連携活動のねらい＞ オンライン葬儀を開発した企業より、全国展開を考えているため、全国の葬儀屋さんをデータ登録できないかとの依頼があり、その業務を受ける事になりました。 ＜地域にとってのメリット＞ 企業としては、上記データ登録作業が人材不足しており、それを依頼することで事業を進めること出来たようです。 ＜対象者にとってのメリット＞ 検索スピードの向上、また入力作業のスピードの向上につながることが出来ました。	
＜成果＞	
＜実施した結果＞ 九州全体のデータ登録を実施することが出来ました。 ＜得られた成果＞ データ登録作業に対しての委託料を売り上げることが出来ました。 ＜課題点＞ 検索のスピードをより向上出来ると、データ登録数も多くなると思います。	＜活動内容の追加コメント＞ 最初は戸惑いもありましたが、作業が進むにつれてスピードがどんどん上がってきました。このまま全国全てのデータ登録出来ればと思っています。

連携先の企業等の意見または評価

＜連携した結果に対する意見または評価＞ 弊社にとってこの企画を展開することは優先となっており、今回作業していただき大変助かってます。また、障がい者施設とのコラボが出来たことも社会貢献になれたと思ってます。データ登録スピードもとても早くなられ、このまま進めていってもらえればと考えています。 ＜今後の連携強化に向けた課題＞ 現状 今のスピードのままデータ登録を続けてもらえると、早い段階で全国の登録が出来るのではと思っています。それが終了したら、福祉施設のデータ登録を協力してもらえればと期待してます。今後ともよろしくお願いします。	連携先企業名 株式会社 ライズナー	担当者名 高江 大作
---	---------------------------------	--------------------------

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	MARUKO	事業所番号	4312700398
住 所	熊本県宇城市松橋町久具 1 3 4 番地	管理者名	松田 敬司
電話番号	0964-33-3833	対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞	＜活動の様子＞
＜活動場所＞ MARUKO ＜実施日程＞ 令和 4 年 9 月～令和 5 年 3 月 ＜実施した生産活動・施設外就労の概要＞ ガスメーター解体作業 ＜利用者数等＞ 2～3 名	＜活動の様子の写真＞  ＜成果物の写真＞ 鉄、銅、ゴム等に区分けした成果物となります。 
＜目的＞ ＜地域連携活動のねらい＞ 定期的に交換になるガスメーターを解体し各資源ごとに分別をおこない、リサイクルにつなげていくために今回連携することにより進めることが出来ました。 ＜地域にとってのメリット＞ 海外に頼っている分別の国内循環につなげていくため。 ＜対象者にとってのメリット＞ 電動ドリル、マイナスドライバー等の機器の扱い方が向上出来ました。作業幅が広がり、利用者さんのやる気も上がり、働きがいの向上に繋がりました。 ＜成果＞	＜活動内容の追加コメント＞ 現在解体に時間がかかっているが、1 個を 6 分程度で解体出来るようになると、1 時間 8 0 0 円程度の買い取り金額となるため、よりスピードUP できるよう訓練していきたいと思っています。
＜実施した結果＞ 現在までに約 2 トン以上のガスメーターの解体をすることが出来ました。 ＜得られた成果＞ 上記解体の全てを買い取ってもらうことが出来ました。 ＜課題点＞ 解体のスピードを向上されるとより多くの解体が可能になると考えます。	

連携先の企業等の意見または評価

＜連携した結果に対する意見または評価＞ 以前よりこの解体作業を障がい者施設等とコラボ出来ないかと考えていました。今回実現することが出来、少しでも社会貢献に繋がれて良かったと考えてます。SDG.s の取り組みが進められる中で、弊社でも本業を通じた社会課題の解決を考えてきました。宇城市は障がい者施設も多く、地域課題でもある障害者への雇用環境の充実。また、世界の環境課題であるプラスチックのリサイクルを障がい者施設との連携により、雇用とリサイクルといった循環型社会貢献の輪を広げていけると思い始めてきました。徐々にですが雇用とリサイクルの社会貢献の輪が広がっています。 ＜今後の連携強化に向けた課題＞ 現状としては解体時間がかかっているようですが、訓練することによりスピードも向上できると思いますので、是非このまま頑張ってくださいと考えてます。今後も協力を行っていく予定です。まだまだ時間がかかっている部分もありますが、解体フローの認知向上や連携強化によるスピードの向上を図ることで、雇用形態や労働時間に対する賃金をよりもっと進めていきたいと思っています。			
連携先企業名	株式会社 日出ショー	担当者名	河副日出海